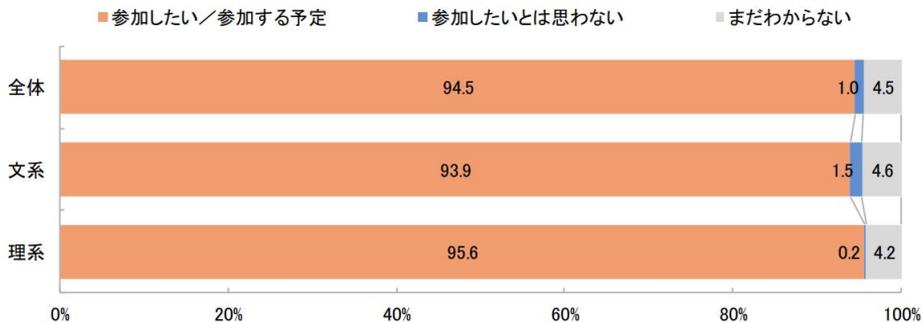


24卒は夏インターンシップが採用成功への鍵!?

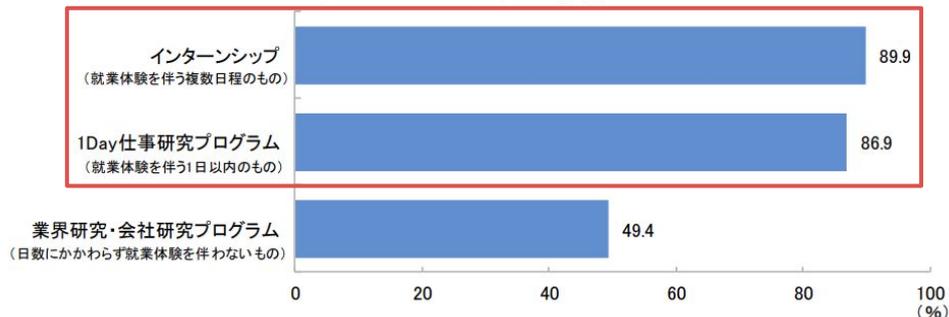


9割以上の学生が就業体験型のインターンシップ参加を希望

<インターンシップ等への参加意向>



<参加したいプログラムの種類>



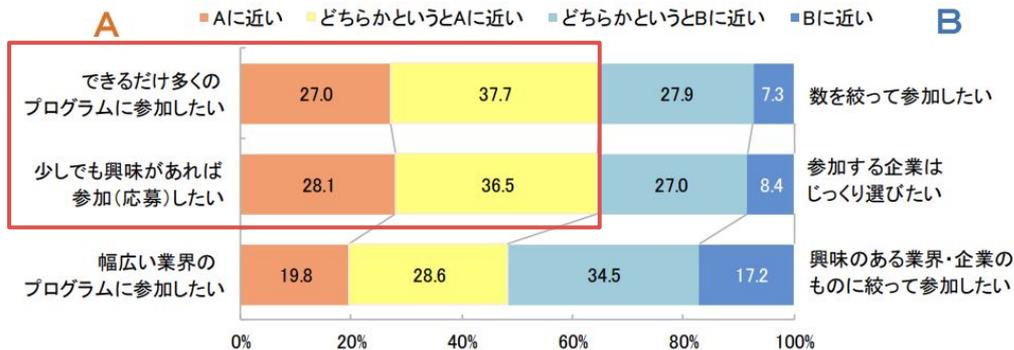
大学3年生の5月中旬時点でのインターンシップ等への参加意向度の調査結果によると、**9割以上**（94.5%）の学生がインターンシップへ「参加したい」と回答しており、高い参加意欲を示している。

また、希望するプログラム形式は「インターンシップ」「1Day仕事研究プログラム」が共に9割近くに上っている。反面、就業体験を伴わない「業界研究・会社研究プログラム」は50以下ということを考えると、ほとんどの学生が**就業体験を伴うプログラムへの参加を希望している**ことがわかる。

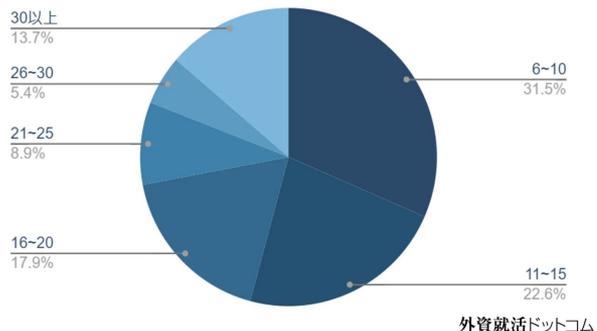
出典：2024年卒学生の職業意識とインターンシップに関する調査
https://www.disc.co.jp/wp-content/uploads/2022/06/internshipchosa_2024.pdf

インターンシップ期では企業との接点を広く持つ意向が高い

<参加方針>



Q.インターンシップに応募する社数を教えてください



インターンシップの参加方針について、**6割以上**の学生が「できるだけ多くのプログラムに参加したい」「少しでも興味があれば参加したい」と回答しており、**インターンシップ期では企業との接点を広く持つ意向が高い**ことが伺える。

ただし、「参加する業界の幅」については拮抗していることから、既にある程度業界の目星をつけている学生もいると思われる。

また、応募予定社数は「6~10社」が31.5%と最多だが、「11社以上」の回答が7割以上を占めている。
数多く参加する学生も多いと考えられる。

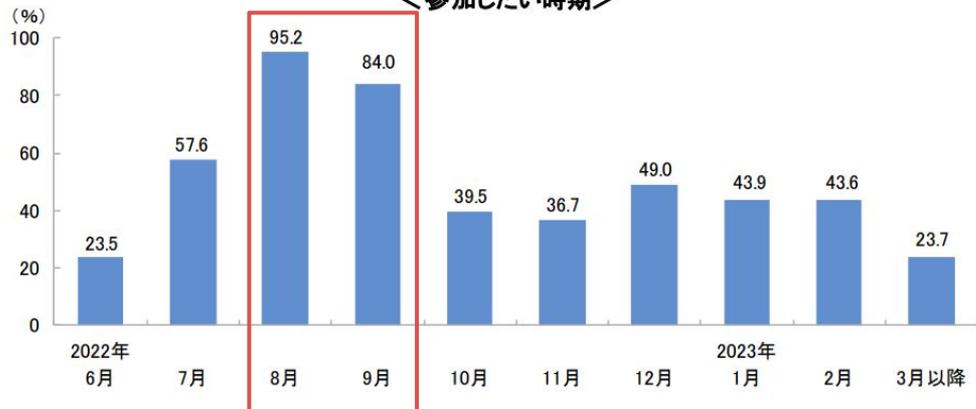
出典：2024 年卒業生の職業意識とインターンシップに関する調査
https://www.disc.co.jp/wp-content/uploads/2022/06/internshipchosa_2024.pdf
 外資就活ドットコム：24卒学生サマーインターン前の意識調査
https://ortimes.jp/main/html/rd/p/000000053_000026700.html

ほとんどの学生が夏のインターンシップ参加に意欲的

<参加したい形式>



<参加したい時期>



インターンシップの形式については「対面とオンライン両方」を希望する学生が約8割（77.2%）に上り、「対面形式のみ」と合計すると**9割以上の学生が対面でのインターンシップ参加を希望している**ことがわかる。

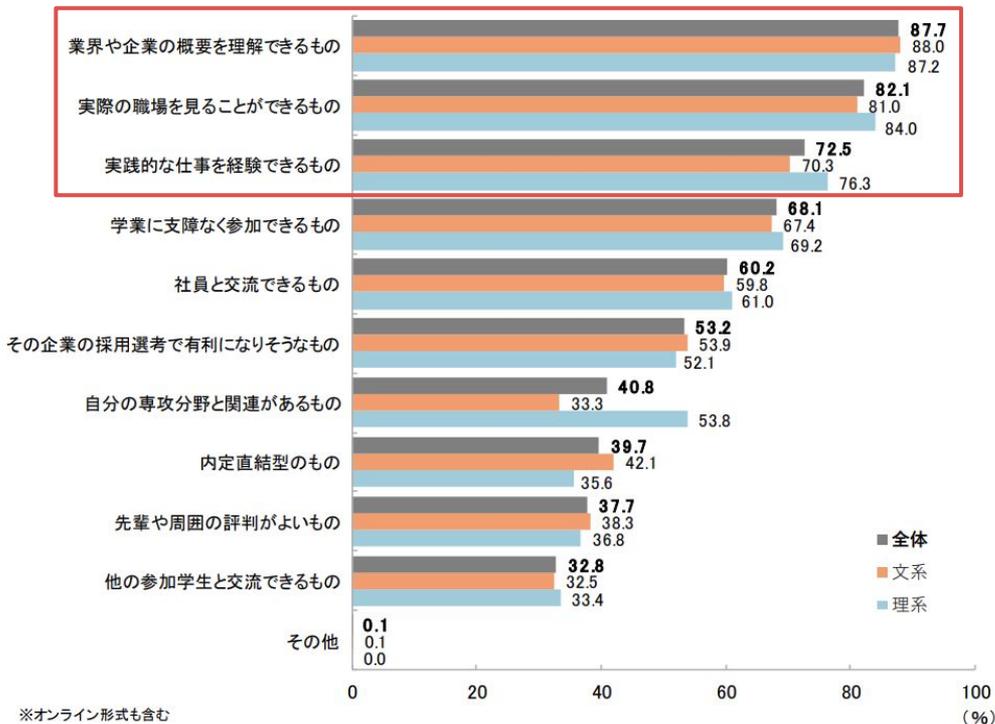
参加時期については、8月が95.2%と最多で次点で9月が84%と続いている。10月以降の回答が50%未満であることから、**ほとんどの学生がサマーインターンシップへ注力する意向**であることがうかがえる。

学生の意向に合わせるなら、同じくサマーインターンシップ期間で**接触機会を多く**作っておくことが良さそうだ。

出典：2024 年卒業生の職業意識とインターンシップに関する調査
https://www.disc.co.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/internshipchosa_2024.pdf

業界や仕事内容へ理解を深められるプログラムを希望している

＜参加したいプログラム内容＞



プログラム内容としては「業界や企業の概要を理解できるもの」が8割以上で最多。次いで「実際の職場を見ることができるもの」「実践的な仕事を体験できるもの」が続いており、**業界や業務内容について理解を深められるプログラムを希望している**ことがわかる。理系学生においては、専攻分野との関連性を求める声も上がった。

▼参加にあたり期待する成果（一部抜粋）

- さまざまな業界の仕事内容を知り、自分の視野や可能性を広げたい。
- 業界や企業への理解を深め、本選考に役立つ成果を得られることを期待する。
- 実際の社員や職場の雰囲気が自分の希望するものと合致しているかどうか理解できること。

出典：2024 年卒業生の職業意識とインターンシップに関する調査

https://www.disc.co.jp/wp-content/uploads/2022/06/internshipchosa_2024.pdf

- ①多くの学生が夏(8~9月)インターンシップへの参加意向が高い
- ②企業との接点を広く持ちたいと考える学生が多数
- ③業界や仕事内容へ理解を深められるコンテンツが◎



**7~8月の期間にスカウトで広く学生にアプローチをして
夏インターンシップへ呼び込むことが重要！！**